

SOSHIN

# 2020

社会・環境レポート

Earth

双信電機株式会社  
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

双信デバイス株式会社

双信パワーテック株式会社

立信電子株式会社

SOSHIN ELECTRONICS(M)SDN. BHD

# 事業概要

## 2020 社会・環境レポート

### 目次

#### ■事業概要ほか

会社概要・事業拠点・財務ハイライト	1
社長メッセージ・コーポレートガバナンス	2
事業領域と関連製品	3

#### ■社会性報告

CSR活動について（SDGs：持続可能な開発目標への対応、生物多様性の概要）	4
人間性の尊重、 快適な職場環境の確保	5～6
地域社会との協調・ 社会貢献活動の推進	7

#### ■環境報告

環境マネジメントシステム	8
環境保全活動の概要	9
環境会計	10
物質収支・含有化学物質管理	11
環境負荷低減活動への取り組み	12
省エネ対策事例	13
資源活用の取り組み	14

### 編集方針

このレポートは双信電機グループの社会・環境にかかわる取り組みを報告しています。

#### 【対象期間】

2019年4月～2020年3月

#### 【対象範囲】

双信電機株式会社  
双信デバイス株式会社  
双信パワーテック株式会社  
立信電子株式会社  
双信エレクトロニクスマレーシア  
2020年8月発行

## ■会社概要（2020年3月末現在）

社名：双信電機株式会社  
英文名 SOSHIN ELECTRIC CO.,LTD.  
URL <http://www.soshin.co.jp>

東京本社 〒105-0023  
東京都港区芝浦1丁目1番1号 浜松町ビルディング14F  
Tel.03-5730-4500 Fax.03-5730-4504

創業：1938年（昭和13年）12月  
設立：1944年（昭和19年）4月  
資本金：3,806百万円（2020年3月末現在）  
従業員数：770名（2020年3月末現在）

## ■事業拠点

### 【国内営業拠点】

東京本部  
大阪営業所 / 名古屋営業所 / 九州営業所

### 【国内製造・技術拠点】

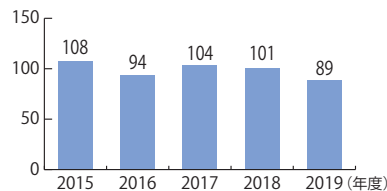
浅間工場、千曲技術センター

### 【グループ会社】

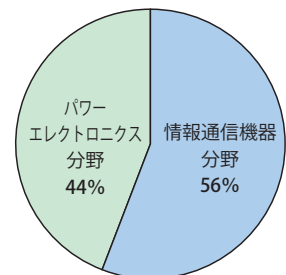
双信デバイス株式会社  
双信パワーテック株式会社  
立信電子株式会社  
双信エレクトロニクスマレーシア  
双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ  
双信エレクトロニクスヨーロッパ  
双信電子（香港）有限公司  
双信華科技（深圳）有限公司  
台湾双信電機股份有限公司

## ■財務ハイライト

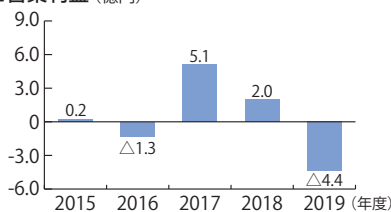
### ■売上高（億円）



### ■市場別売上高比率（2020年度）



### ■営業利益（億円）



## 社長メッセージ



代表取締役社長  
上岡 崇

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまとご家族および関係者の皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。この社会・環境レポートが皆さまのお目に触れるころには、生活の様式を変えつつも以前の日常に近い毎日を過ごされていることを祈念いたします。

さて、今回の新型コロナウイルスの問題は、私たちに継続する日常の重要性を再認識する機会をもたらしたのではないかと思います。そのような中で双信電機グループは、全世界的な取り組みが行われているSDGs（持続可能な開発目標への対応）について、対応し得る5項目について引き続き活動を続けてまいります。さらに持続可能な世界を創造するための取り組みを企業活動の中で実践し、社会に貢献してまいります。

近年問題となっております品質コンプライアンス違反につきまして、毎年この問題に特化したアンケートをグループ全体で実施し、問題の抽出と未然防止に努めております。しかしながら、80年以上の企業活動の中で、日常的にルールに適合していないにもかかわらず、看過されて来た問題も発見されており、是正に向けて発見の都度お客さまに報告し、再発防止策を講じております。

お客さまに限らず、株主、サプライヤーなど、あらゆるステークホルダーの皆さまからの信頼があって、当社グループの存在があるものと認識いたしております。

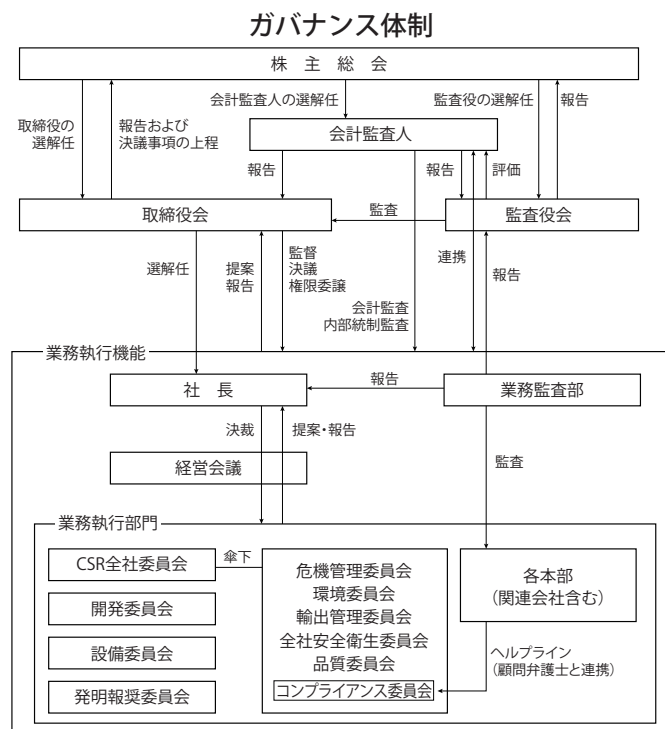
今後もステークホルダーの皆さまから信頼され、持続可能な社会の実現に貢献するべく、たゆまぬ企業活動を続けてまいります。ステークホルダーの皆さまの変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## ◆コーポレートガバナンス

双信電機グループは、企業価値の向上を経営上の重要な課題の一つと位置づけています。コーポレート・ガバナンスの強化は、事業活動の適法性と経営の透明性を高め、会社に関わる全てのステークホルダー（株主、顧客、従業員、取引先、地域社会）から信頼される企業となることに繋がり、企業価値の向上に資する重要な施策と考えています。

その実現に向け、経営組織体制の整備、経営効率の向上、経営監視機能の強化といった取締役会、監査役会等の責務を明確にし、法令順守の徹底に努めています。

また、株主の権利、平等性の確保と対話の促進により、相互に信頼できる関係を築きます。



# 事業概要

## 事業領域と関連製品

双信電機グループは情報通信分野とパワーエレクトロニクス分野で、時代のニーズとお客様の期待に応え、環境負荷に配慮し小型・高性能・廃棄の少ない製品づくりを行い、低炭素社会の実現に貢献しています。

### 【情報通信事業】

#### ・情報通信インフラ

カプラ・バラン・積層誘電体フィルタなどの高周波部品やコンデンサが携帯電話基地局（5G）などの情報通信機器市場のインフラ設備を支えています。

#### ・情報通信機器

WiFi アクセスポイント、カーナビなどの無線LAN・ブルートゥース通信モジュールなどに積層誘電体フィルタが採用されています。



積層誘電体フィルタ



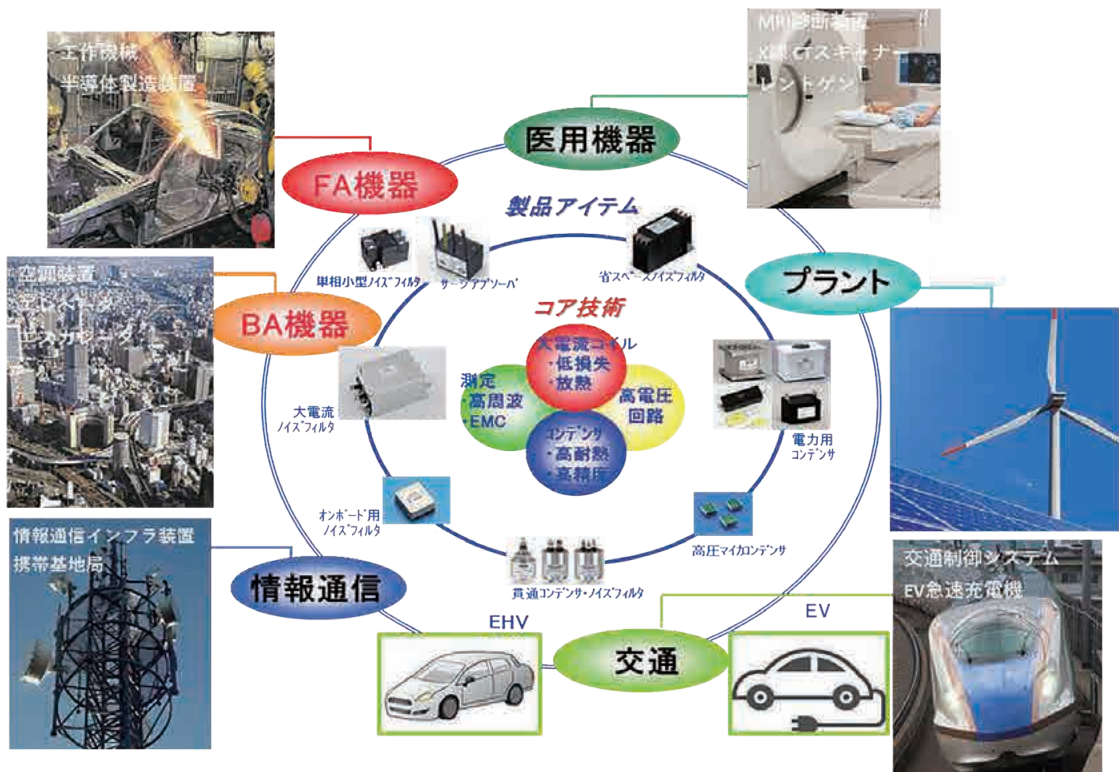
カプラ



LCフィルタ



チップマイコンコンデンサ



### 【パワーエレクトロニクス事業】

#### ・ノイズ関連

半導体製造装置や工作機械などの産業分野、空調エレベーターなど暮らしを支える設備、地球環境への負荷低減が期待される省エネ設備でノイズ障害対策のニーズが高まっています。当社のEMC製品はこれらの装置・設備から発生するノイズ問題を解決し、多くの分野で活躍しています。また、大型電波暗室やオンサイト（指定場所）によるノイズ測定・診断など、トータルサポートでお客様のニーズにお応えしています。

#### ・カーエレクトロニクス、鉄道

高い信頼性が要求される自動車関連に、ノイズフィルタ、コンデンサなどが使用されています。また、鉄道車両や鉄道運行管理システムではノイズフィルタ・LCフィルタ・コンデンサが安全安心を支えています。

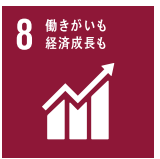




## C SR 活動について

### ◆ SDGs：持続可能な開発目標への対応

双信電機グループは、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を指標に事業活動を通じて幅広く社会における課題の解決に貢献することが重要な社会的責任であると考えます。

双信電機グループが対応し得る 5 項目について、提供価値を具体化し活動を行っています。

会社の成長と共に、貢献できる項目を増やして行くことで、経済成長に寄与できる様に活動して参ります。

	関連する内容	双信電機グループの提供価値
 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	人間性の尊重、快適な職場環境の確保	雇用・採用を適切に行い、個性と多様性を尊重することで、従業員の働き甲斐のある安全な職場を提供し、経済成長に寄与します。
 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	地域社会との協調、社会貢献活動の推進	地域社会との共存をはかり、持続可能な都市および人々の居住環境の実現に寄与します。
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	物質収支（インプット／アウトプット） 含有化学物質の管理	事業活動に必要なエネルギーや化学物質・水等を効率的に利用し、アウトプットの削減を行います。
 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	環境保全活動 環境負荷低減活動への取り組み	環境目標を設定し、CO <sub>2</sub> 排出量・廃棄物の削減、含有化学物質の管理強化、環境に関する苦情・事故を起こさない様に取り組み、環境保全と環境負荷の低減に寄与します。
 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	資源活用の取り組み	3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進、資源循環によりゼロエミッションを達成することで、間接的に森林保護・砂漠化対策・生物多様性損失阻止に寄与しています。

# 社会性報告

## 人 間性の尊重、快適な職場環境の確保 ●

### ◆雇用・採用に関する基本方針

双信電機グループでは事業の中長期成長を見据えた人員計画を立て、雇用の安定に努めています。新卒の計画的採用を行うと共に、社内ローテーションを積極的に展開し、必要な能力・経験を持った人材の適正配置を進め、従業員の働き甲斐、働き易さを意識した活動を推進しています。

### ◆こころの健康づくり

双信電機グループでは「こころ」のケアを充実させるために産業医、顧問医、保健師、カウンセラー、産業保健スタッフが一致団結して、こころの健康づくりの活動に取り組んでいます。

社員の健康意識も高まりストレスチェックの受検率はほぼ 100% となっております。

また、長時間労働対策に関して、管理職への教育、残業時間の管理、定時退社日の徹底などを実施しています。

### ◆個性と多様性の尊重

障害者雇用については法定雇用率 2.2% に対し 2.97%（2019 年実績）となっております。

また、定年退職後の再雇用制度を導入し、フルタイム、パートタイムなど個人のセカンドライフプランに合わせた柔軟な勤務形態を用意しております。

### ◆ワークライフバランスの実現

女性社員の多くが産前産後休暇や育児休暇制度を利用し、仕事と育児の両立を果たしています。このほか、リフレッシュ休暇制度や計画有給取得制度を活用し、心身のリフレッシュを図れる制度を整えています。

### ◆管理職研修

各拠点ごとの管理職に対し、人事制度説明、評価者訓練を行いました。



### ◆コンプライアンス強化

各拠点ごとの管理職に対し、顧問弁護士によるコンプライアンス研修を行いました。

## 人 間性の尊重、快適な職場環境の確保

### ◆安全衛生

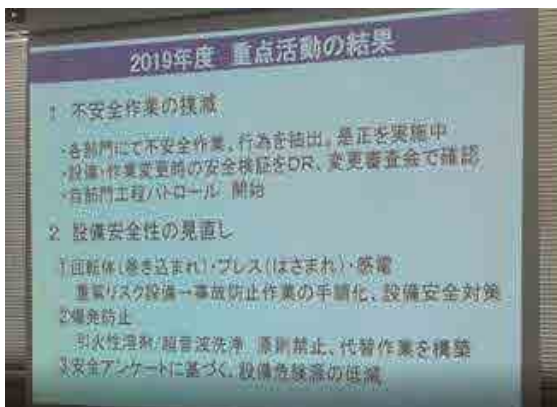
双信電機グループでは、従業員の安全及び健康を確保し、快適な作業環境の形成を促進すると共に、業務災害ゼロを目指して安全衛生活動を積極的に展開しています。

主な活動として、「回転体巻き込まれ、挟まれ、感電、爆発事故」等の重篤災害・重大事故の抑制／未然防止活動、グループ会社間での相互パトロールによる隠れた危険要因の顕在化に注力しております。また、全国労働衛生週間では、ストレスチェックを実施し、拠点別、年度別の変化を分析、産業保健活動に繋げる事で、心身の健康増進を図り、社内の安全・衛生の更なる向上に活かしております。

昨年度、長野地区2工場でISO45001 認証取得いたしました。今後はグループ会社全体で認証を目指し活動を展開いたします。



ISO45001：2018 認証書



安全衛生社内教育

# 社会性報告

## 地域社会との協調、社会貢献活動の推進

### JR 佐久平駅にウェルカムフラワー設置

佐久市の玄関口佐久平駅に、佐久平総合技術高校と佐久市観光協会の方々と協力して「ウェルカムフラワー」を設置しました。



### 双信電機杯バレーボール大会（第33回）

宮崎地区にてバレーボール大会を開催  
毎年地域貢献活動の一環として実施をしています。  
地域より17チーム、双信より4チーム計21チームが参加しました。



### 工場見学受け入れ

双信デバイス(株)にて、市内高校生の工場見学、インターンシップ受け入れを実施しました。製品の説明・実習を通じ製造体験をしていただきました。



### 国際ボランティアデー 社会貢献一斉アクション

東京本社が入居するビル内の企業が共同しフェアトレード商品の販売を行ない、開発途上国の生産者支援に参加しました。



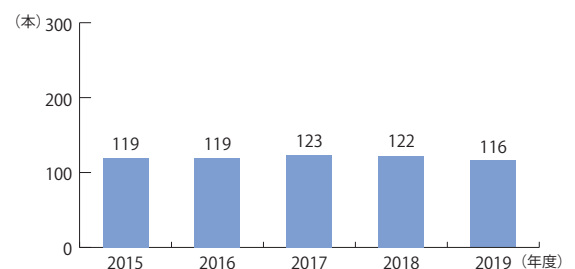
### 高齢者総合支援センター避難訓練支援

双信パワーテック(株)にて、近隣の高齢者支援センターの総合防災訓練に参加し、入居者の避難誘導を行いました。



### エコキャップ運動

回収したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金し、会貢献活動にあてられています。2019年度はワクチン換算で116本でした。



各工場にて、工場周辺の清掃活動、美化活動を年2回継続しています。



## 環境マネジメントシステム

### 環境方針

1. 法令・協定・顧客との取り決めおよび自主基準を順守する。
2. 環境目標を設定し、組織的・継続的な環境負荷低減活動を地域社会とともに推進する。
3. 環境に配慮した製品の開発・設計・製造販売を行う。
4. 環境汚染の予防処置と監視を行う。
5. 教育・啓発活動を進め、従業員および事業に関わる人々すべての役割・責任についての自覚高揚を図る。

### ◆環境保全活動の推進体制

環境保全に関する双信電機グループの方針・施策は、環境管理担当役員を委員長とする「環境委員会」で決定します。ここで決定した方針・施策は、各サイトの拠点長、環境管理責任者を通じて全社に展開されます。

環境組織の活動として、半期ごとに開催される環境委員会の他、環境会議を毎月開催し、CO<sub>2</sub>排出量や産業廃棄物排出量などの目標に対する予実管理のほか環境に関する情報交換などを行い、環境保全活動を継続的に推進しています。

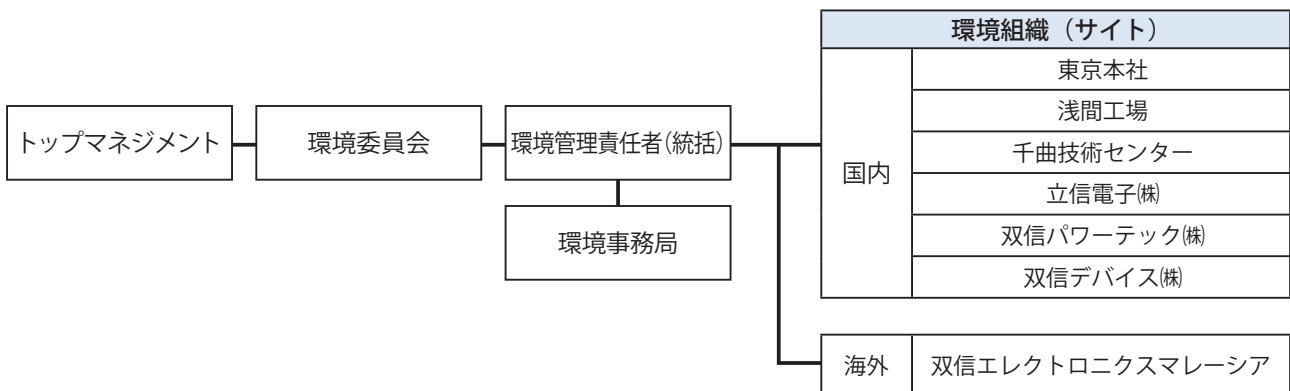
### ◆ISO14001 認証・環境監査

双信電機グループは、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001：2015年版の認証を取得しています。

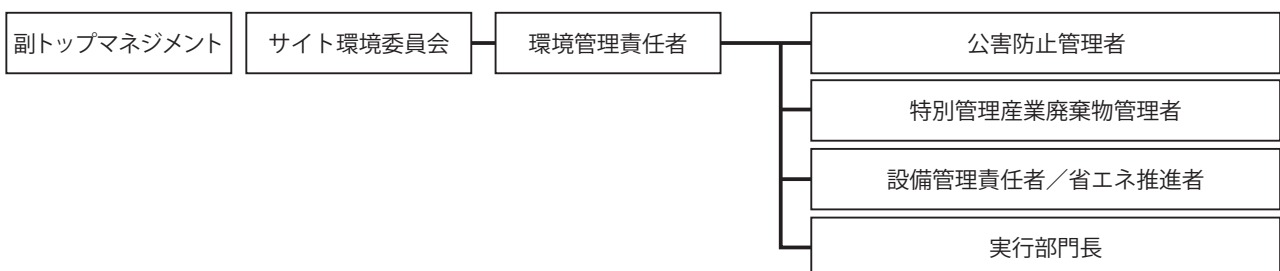
環境監査は認証機関による外部監査、環境管理部による環境査察、実行部門が行う内部環境監査を実施しマネジメントシステム維持向上に努めています（内部環境監査員248名）。

### 【環境保全組織】

ISO14001：2015年版 認証の適用範囲



### 【各サイト環境保全組織】



# 環境報告

## 環境保全活動の概要

双信電機グループの環境活動は、環境目的とそれを達成するための環境目標を設定し、自主的な環境保全に努めています。

### ◆ 2019 年度活動報告および 2020 年度目標

#### 【CO<sub>2</sub> 排出量】

2019 年度の環境負荷低減活動としての CO<sub>2</sub> 排出量は、目標を達成しました。

2020 年度は CO<sub>2</sub> 排出削減の取り組みとして、2019 年度と同様に、照明の LED 化を含む省電力設備への段階的な変更を実施します。

生産性向上、設備稼働ロス・負荷低減、省エネパトロールによる無駄の排除につきましても、継続して実施していきます。

#### 【産業廃棄物排出量】

2019 年度の産業廃棄物排出量は、目標を達成しました。2020 年度は、原材料の収率向上等をはかり、廃棄物排出量の削減を実施していきます。

#### 【含有化学物質の管理強化】

RoHS 指令におけるフタル酸エステル類規制、REACH 規則においても管理対象物質が年々追加されており、製品に使用する物質への制限・管理が厳しくなっています。

双信電機グリーン調達ガイドラインに基づき、最新の規制情報にあわせた管理を実施しています。また、製品構成部材の含有化学物質管理を目的に、仕入先の環境品質調査を実施し、グリーン調達活動を進めています。

#### 【環境に関する苦情・事故の有無】

2019 年度は環境に関する苦情・事故は発生しておりません。2020 年度も苦情・事故が発生しないように、環境保全に向けた活動を継続していきます。

### ◆ 主な環境保全活動

項目	2019 年度実績		自己評価	2020 年度目標
	目標	実績		
環境マネジメントシステム (ISO14001)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育と啓蒙活動を継続します。</li> <li>環境マネジメントシステム 2015 年版の運用を確実に実行し、各部門・内部環境監査員のレベルアップをはかります。</li> <li>環境法規制を順守します。</li> <li>ISO45001 とのマニュアル統合を実施し、部分認証を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の周知、環境目標などの環境教育を実施しました。</li> <li>環境マネジメントシステム 2015 年版による認証維持審査を受審、運用に問題が無いことを確認出来ました。また、内部環境監査員の教育を実施し、監査員の増員と共に、レベルアップをはかりました。</li> <li>環境法規制は順守継続できました。</li> <li>ISO45001 との統合と部分認証を取得いたしました。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育と啓蒙活動を継続します。</li> <li>環境マネジメントシステム 2015 年版の運用を確実に実行すると共に、ISO45001 のマネジメントシステムの全社展開を図ります。</li> <li>安全衛生を含む法規制の順守を継続します。</li> </ul>
地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の CO<sub>2</sub> 排出量を 6,997t 以下にします。(CO<sub>2</sub> 原単位排出量を 76.9t/億円以下にします。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の CO<sub>2</sub> 排出量は、目標値 6,997t に対し、6,639t であり、目標値を達成する事ができました。(CO<sub>2</sub> 原単位排出量については、生産量の変動に伴い、89.5t/億円と目標を達成できませんでした。)</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の CO<sub>2</sub> 排出量を 6,773t 以下にします。(CO<sub>2</sub> 原単位排出量を 83.2t/億円以下にします。)</li> </ul>
廃棄物管理活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量を 293t 以下にします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量は、目標 293t に対し、268t となり、目標値を達成する事ができました。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量を 296t 以下にします。</li> </ul>
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>蛍光 X 線分析装置により、海外調達品の受入検査を継続、仕入先環境品質調査を実施し、グリーン調達ガイドラインを順守します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査対象の受入部材の検査を実施し、異常の発生はありませんでした。仕入先環境品質調査を計画通り実施し、グリーン調達を推進しました。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>蛍光 X 線分析装置により、海外調達品の受入検査を継続、仕入先環境品質調査を実施し、グリーン調達ガイドラインを順守します。</li> </ul>
有害化学物質の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCB/鉛を含む有害物質の適切な管理を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低濃度 PCB 機器を 1 台廃棄処理しました。</li> <li>RoHS 指令規制対象外期限切れ物質について調査をいたしました。</li> <li>PCB 使用機器の継続調査を継続します。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>RoHS 指令の適応外期限切れ物質対して変更を推進します。</li> <li>PCB 含有機器の調査継続と、適正な手続きを実施し、処分期限までに実施をいたします。</li> </ul>

## 環境会計

### ◆環境保全コスト、環境保全対策にともなう経済効果

双信電機グループは、環境保全目的として支出した金額を投資額と費用でとらえ、その効果を定量的に把握するため、環境会計を実施しています。

双信電機グループにおける 2019 年度環境保全コストにおいて、LED 照明の導入等の省エネルギー型設備への入替を行い、計 7,508 万円の投資額となりました。（投資効果確認は来年度以降実施）

環境保全活動の費用は、計 2,314 万円と前年度より 368 万円の増額となりました。2019 年度単年の経済効果は 476 万円となりました。

実績集計：2019 年度（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）※環境省環境会計ガイドラインに沿って作成しております。

単位：万円

分類	内容	環境保全コスト				経済効果	
		投資額		費用額		2018年度	
		2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
公害防止	公害防止のために必要なコスト	0	0	151	187	—	—
地球環境保全	省エネ設備導入等 CO <sub>2</sub> 削減のために必要なコスト	6,308	7,508	77	92	89	476
資源循環	節水等資源効率利用、廃棄物の削減・リサイクル・処理・処分するために必要なコスト	0	0	999	1,209	0	0
上・下流	事業活動に伴う上流下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト	0	0	0	0	—	—
管理活動	ISO14001 認証取得・維持、環境教育、環境負荷の監視測定等環境保全に必要なコスト	0	0	499	416	—	—
研究開発	環境負荷削減の研究開発・企画設計、環境保全に資する製品開発・研究に必要なコスト	0	0	0	0	—	—
社会活動	自然保護、緑化、地域の環境支援、環境情報の公表、環境広告に必要なコスト	0	0	220	410	—	—
環境損傷	土壌汚染による改良、自然破壊修復等に必要なコスト	0	0	0	0	—	—
合計		6,308	7,508	1,946	2,314	89	476

※資源循環の経済効果については 2018 年度より集計方法を変更しております。

# 環境報告

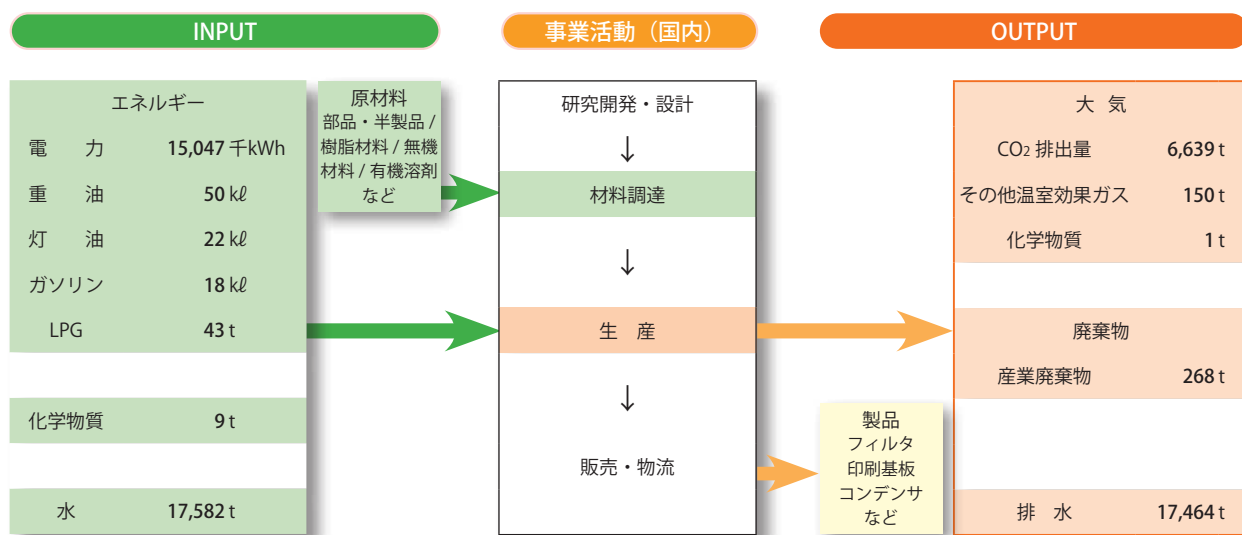
## 物質収支(インプット - アウトプット)

双信電機グループの国内における事業活動に関して、2019年度1年間でインプットされた資源・エネルギーと生産された製品、廃棄物及びその他の排出物（アウトプット）を示します。

### ◆インプット・アウトプットの概要

インプットは、事業活動に必要な部品、原材料、エネルギー、化学物質、水などによって構成されます。アウトプットとしては、製品生産活動にともなうCO<sub>2</sub>排出、排水、廃棄物などがあります。

双信電機グループでは製品以外のアウトプットを削減するため、省エネ活動や原材料の収率改善によりインプットを極力削減する活動を行っています。



## 含有化学物質管理

### ◆含有化学物質調査

得意先からの製品含有化学物質調査依頼に対し、迅速に対応できるように、また、ライフサイクルの視点で、部品選定の段階から含有化学物質の使用有無の調査に取り組んでいます。

### ◆蛍光 X 線分析

禁止物質を含有する恐れのある部品・材料については、入荷時蛍光 X 線分析装置によるスクリーニング検査を実施し、非含有であることを確認しています。

### ◆グリーン調達

環境負荷の少ない部品・材料の調達を進めており、仕入先への環境品質調査を実施し、化学物質管理に問題が無いことを確認しています。

「双信電機グループグリーン調達ガイドライン」に基づいて、仕入先に積極的な取り組みのご協力をお願いしています。

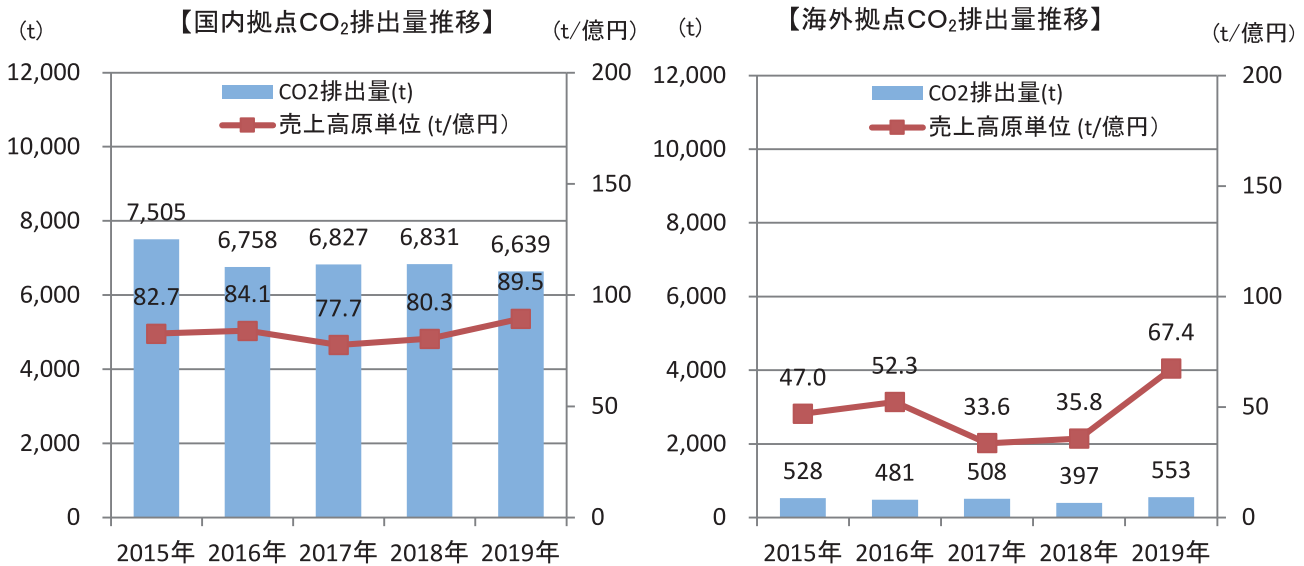
## 環境負荷低減活動の取り組み

地球温暖化防止への対応として、省エネ等 CO<sub>2</sub> 排出量削減に取り組んでいます。

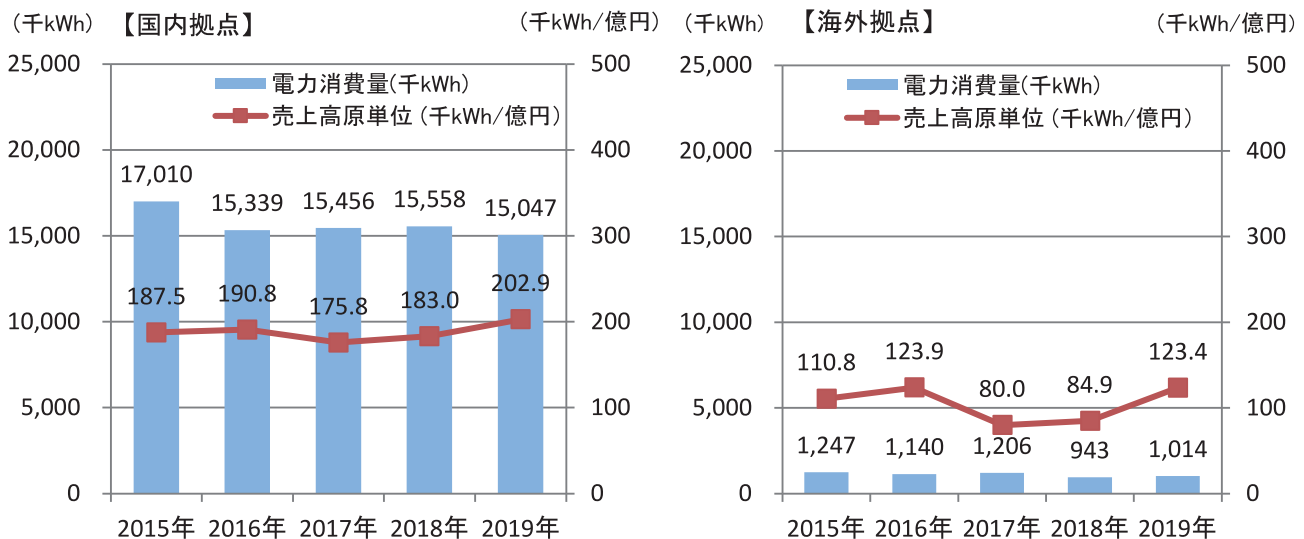
2019年度の国内のCO<sub>2</sub>排出量は、ノイズ関連部品・厚膜印刷基板などの売上減少により、6,639t、売上高原単位は、89.5t/億円となりました。

2019年度の海外拠点でのCO<sub>2</sub>排出量は553t、売上高原単位は、67.4t/億円となりました。2020年度のCO<sub>2</sub>排出量は、6,773t以下（売上高原単位 83.2t/億円）を目標にします。

### ◆ CO<sub>2</sub> 排出量



### 【参考：電力消費量推移】



# 環境報告

## 省 エネ対策事例 ●

### ◆浅間工場 照明のLED化

浅間工場の照明を蛍光灯からLEDに変更しました。(CO<sub>2</sub>年間約53%削減)

変更前

蛍光灯



変更後

LED



### ◆浅間テストラボ・調達部 エアコン入替

浅間テストラボ・調達部の電気式パッケージエアコンを、高効率のガスヒートポンプ式エアコンに入替えました。  
(浅間テストラボ：CO<sub>2</sub>年間約37%削減、調達部：CO<sub>2</sub>年間約57%削減)

変更前

電気式パッケージエアコン

室外機 4台



(浅間テストラボ)



変更後

ガスヒートポンプ式エアコン

室外機 4台を1台に集約



(浅間テストラボ)



(調達部)



(調達部)

## 資源活用の取り組み

双信電機グループは、環境保全のため、循環型社会の形成を重要視しています。グループ内の事業活動で排出される廃棄物を資源として捉え、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進しています。

2019年度総排出量 268t に対し、リユースが 166t、リサイクルが 102t で、ゼロエミッションを継続、2020年度は総排出量 296t 以下を目指します。

(\*当社ゼロエミッションの考え方：売上高原単位最終埋立量を 0.12 トン/億円以下にする活動。)

また、法に基づいた処理が適正に行われるように、行政に認可を受けた廃棄物処理業者とのみ委託契約を結び、マニフェスト（廃棄物管理表）の発行、処理記録を残しています。

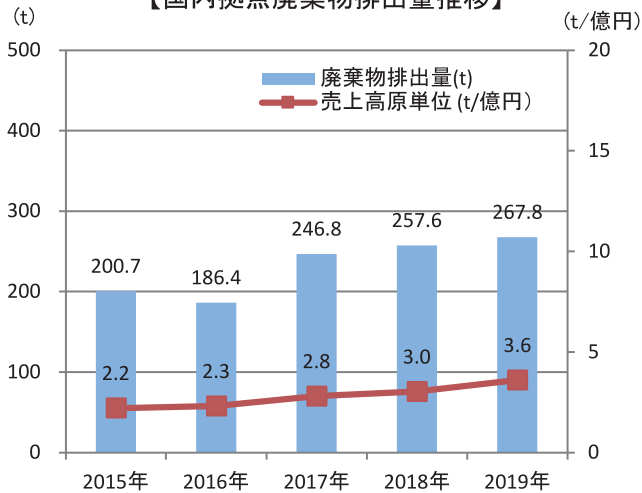
廃棄物処理業者については、処理現場の定期的現地視察を行い、処理に問題が無いことを確認しています。



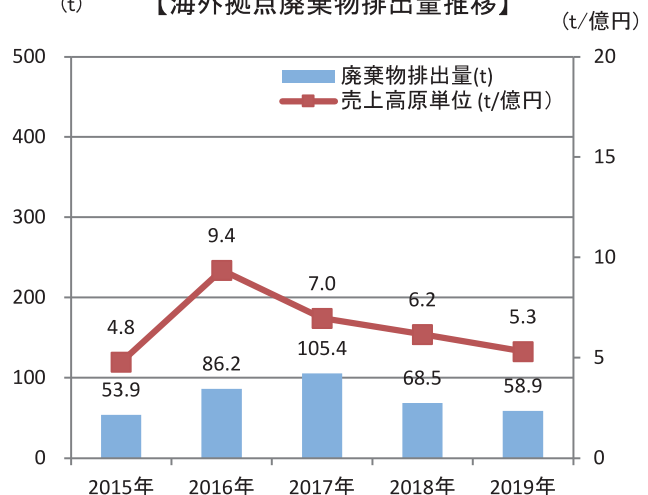
廃棄物処理委託業者現地視察

### ◆廃棄物排出量

【国内拠点廃棄物排出量推移】



【海外拠点廃棄物排出量推移】



## 双信電機株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 浜松ビルディング 14F

お問い合わせ先

### 環境管理部

〒385-0011 長野県佐久市猿久保 664-1 TEL.0267-67-4580

本レポートに対するご意見・ご感想をお寄せください。

E-mail : [environment@soshin.co.jp](mailto:environment@soshin.co.jp)



# 2020 社会・環境レポート



**双信電機株式会社**  
**SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.**

URL : <http://www.soshin.co.jp>

〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目1番1号 浜松町ビルディング14F  
Tel: 03-5730-4500 Fax: 03-5730-4504

この報告書の内容に関するご意見・お問い合わせ先  
環境管理室

Tel: 0267-67-4580 Fax: 0267-68-4553  
E-mail: [environment@soshin.co.jp](mailto:environment@soshin.co.jp)



Save The